



SVMを对象としたNDMPの設定

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

SVMを対象としたNDMPの設定	1
クラスタでSVMを対象としたNDMPを有効にする	1
NDMP認証のバックアップユーザを有効にする	2
LIFの設定	3

SVMを対象としたNDMPの設定

クラスタでSVMを対象としたNDMPを有効にする

DMAがCluster Aware Backup (CAB) 拡張をサポートしている場合は、SVMを対象としたNDMPを有効にし、クラスタ（管理SVM）でNDMPサービスを有効にし、データ接続と制御接続用のLIFを設定することで、クラスタの異なるノードでホストされているすべてのボリュームをバックアップできます。

必要なもの

CAB拡張はDMAでサポートされている必要があります。

タスクの内容

ノードを対象としたNDMPモードをオフにすると、クラスタでSVMを対象としたNDMPモードが有効になります。

手順

1. SVMを対象としたNDMPモードを有効にします。

```
cluster1::> system services ndmp node-scope-mode off
```

SVMを対象としたNDMPモードが有効になります。

2. 管理SVMでNDMPサービスを有効にします。

```
cluster1::> vservers services ndmp on -vservers cluster1
```

認証タイプはデフォルトで設定され challenge、プレーンテキスト認証は無効になっています。



セキュアな通信のために、プレーンテキスト認証は無効にしておく必要があります。

3. NDMPサービスが有効になっていることを確認します。

```
cluster1::> vservers services ndmp show
```

Vserver	Enabled	Authentication type
cluster1	true	challenge
vs1	false	challenge

NDMP認証のバックアップユーザを有効にする

バックアップアプリケーションからSVMを対象としたNDMPを認証するには、十分なPrivilegesとNDMPパスワードを持つ管理ユーザが必要です。

タスクの内容

バックアップ管理者ユーザ用のNDMPパスワードを生成する必要があります。バックアップ管理ユーザはクラスタレベルまたはSVMレベルで有効にすることができ、必要に応じて新しいユーザを作成することもできます。デフォルトでは、次のロールのユーザがNDMPバックアップを認証できます。

- クラスタ全体： `admin``または ``backup`
- 個々のSVM： `vsadmin``または ``vsadmin-backup`

NISまたはLDAPユーザを使用する場合は、そのユーザがそれぞれのサーバ上に存在している必要があります。Active Directoryユーザは使用できません。

手順

1. 現在の管理者ユーザと権限を表示します。

```
security login show
```

2. 必要に応じて、コマンドと、クラスタ全体または個々のSVM Privilegesに適したロールを使用して、新しいNDMPバックアップユーザを作成し ``security login create``ます。

パラメータには、ローカルバックアップユーザの名前、またはNISまたはLDAPユーザの名前を指定できます `-user-or-group-name``。

次のコマンドでは、ロールが割り当てられた ``backup``バックアップユーザがクラスタ全体に対して作成され ``backup_admin1``ます。

```
cluster1::> security login create -user-or-group-name backup_admin1  
-application ssh -authmethod password -role backup
```

次のコマンドを実行すると、個々のSVMにロールが割り当てられた ``vsadmin-backup``バックアップユーザが作成され ``vsbackup_admin1``ます。

```
cluster1::> security login create -user-or-group-name vsbackup_admin1  
-application ssh -authmethod password -role vsadmin-backup
```

新しいユーザのパスワードを入力し、確認のためにもう一度入力します。

3. コマンドを使用して、管理SVMのパスワードを生成します `vserver services ndmp generate password``。

生成されたパスワードは、バックアップアプリケーションによるNDMP接続の認証に使用する必要があります。

```
cluster1::> vserver services ndmp generate-password -vserver cluster1
-user backup_admin1
```

```
Vserver: cluster1
  User: backup_admin1
Password: qG5CqQHxw7tE57g
```

LIFの設定

データリソースとテープリソースの間のデータ接続、および管理SVMとバックアップアプリケーションの間の制御接続の確立に使用されるLIFを特定する必要があります。LIFを特定したら、サービスポリシーとフェイルオーバーポリシーが設定されていることを確認する必要があります。



ONTAP 9 10.1以降では、ファイアウォールポリシーが廃止され、LIFのサービスポリシーに全面的に置き換えられました。詳細については、[を参照してください "サポートされるトラフィックの管理"](#)。

ONTAP 9.10.1以降

手順

1. コマンドでパラメータを指定して `-service-policy`、ノードでホストされているクラスタ間LIFを特定します `network interface show`。

```
network interface show -service-policy default-intercluster
```

2. コマンドでパラメータを指定して `-service-policy`、ノードでホストされている管理LIFを特定します `network interface show`。

```
network interface show -service-policy default-management
```

3. クラスタ間LIFにサービスが含まれていることを確認し `'backup-ndmp-control'` ます。

```
network interface service-policy show
```

4. すべてのLIFのフェイルオーバーポリシーが適切に設定されていることを確認します。

- a. コマンドを使用して、`'network interface show -failover'` クラスタ管理LIFのフェイルオーバーポリシーがに設定されていること、およびクラスタ間LIFとノード管理LIFのポリシーがに設定され `'local-only'` ていることを確認し `'broadcast-domain-wide'` ます。

次のコマンドは、クラスタ管理LIF、クラスタ間LIF、およびノード管理LIFのフェイルオーバーポリシーを表示します。

```
cluster1::> network interface show -failover
```

Vserver	Logical Interface	Home Node:Port	Failover Policy	Failover Group
cluster	cluster1_clus1	cluster1-1:e0a	local-only	cluster Failover
cluster1	cluster_mgmt	cluster1-1:e0m	broadcast-domain-wide	Default Failover
	IC1	cluster1-1:e0a	local-only	Default Failover
	IC2	cluster1-1:e0b	local-only	Default Failover
cluster1-1	c1-1_mgmt1	cluster1-1:e0m	local-only	Default Failover
cluster1-2	c1-2_mgmt1	cluster1-2:e0m	local-only	Default Failover

- a. フェイルオーバーポリシーが適切に設定されていない場合は、コマンドでパラメータを指定し `-failover-policy`` でフェイルオーバーポリシーを変更します ``network interface modify``。

```
cluster1::> network interface modify -vserver cluster1 -lif IC1 -failover-policy local-only
```

5. コマンドでパラメータを指定し ``preferred-interface-role`` で、データ接続に必要なLIFを指定し ``vserver services ndmp modify`` ます。

```
cluster1::> vserver services ndmp modify -vserver cluster1 -preferred-interface-role intercluster,cluster_mgmt,node_mgmt
```

6. コマンドを使用して、クラスタに優先インターフェイスロールが設定されていることを確認します
vserver services ndmp show。

```
cluster1::> vserver services ndmp show -vserver cluster1

                Vserver: cluster1
                NDMP Version: 4
                .....
                .....
Preferred Interface Role: intercluster, cluster-mgmt, node-mgmt
```

ONTAP 9.9以前

手順

1. コマンドでパラメータを指定して `-role`、クラスタ間LIF、クラスタ管理LIF、およびノード管理LIFを特定します `network interface show`。

次のコマンドは、クラスタ間LIFを表示します。

```
cluster1::> network interface show -role intercluster

                Logical      Status      Network      Current
Current Is
Vserver      Interface  Admin/Oper  Address/Mask  Node
Port      Home
-----
-----
cluster1    IC1        up/up       192.0.2.65/24  cluster1-1
e0a        true
cluster1    IC2        up/up       192.0.2.68/24  cluster1-2
e0b        true
```

次のコマンドは、クラスタ管理LIFを表示します。

```
cluster1::> network interface show -role cluster-mgmt

                Logical      Status      Network      Current
Current Is
Vserver      Interface  Admin/Oper  Address/Mask  Node
Port      Home
-----
-----
cluster1    cluster_mgmt  up/up       192.0.2.60/24  cluster1-2
e0M        true
```


次のコマンドは、ノード管理LIFを表示します。

```
cluster1::> network interface show -role node-mgmt
```

Current Is	Logical Interface	Status	Network	Current Node
Vserver Port	Home	Admin/Oper	Address/Mask	
-----	-----	-----	-----	
cluster1-1 e0M	cluster1-1_mgmt1 true	up/up	192.0.2.69/24	cluster1-1
cluster1-2 e0M	cluster1-2_mgmt1 true	up/up	192.0.2.70/24	cluster1-2

2. クラスタ間(node-mgmt`LIF、クラスタ管理LIF(`cluster-mgmt、およびノード管理LIFでNDMPに対してファイアウォールポリシーが有効になっていることを確認します。

- a. コマンドを使用して、NDMPに対してファイアウォールポリシーが有効になっていることを確認します system services firewall policy show。

次のコマンドは、クラスタ管理LIFのファイアウォールポリシーを表示します。

```
cluster1::> system services firewall policy show -policy cluster
```

Vserver	Policy	Service	Allowed
cluster	cluster	dns	0.0.0.0/0
		http	0.0.0.0/0
		https	0.0.0.0/0
		ndmp	0.0.0.0/0
		ndmps	0.0.0.0/0
		ntp	0.0.0.0/0
		rsh	0.0.0.0/0
		snmp	0.0.0.0/0
		ssh	0.0.0.0/0
		telnet	0.0.0.0/0

10 entries were displayed.

次のコマンドは、クラスタ間LIFのファイアウォールポリシーを表示します。

```
cluster1::> system services firewall policy show -policy
intercluster
```

Vserver	Policy	Service	Allowed
cluster1	intercluster	dns	-
		http	-
		https	-
		ndmp	0.0.0.0/0, ::/0
		ndmps	-
		ntp	-
		rsh	-
		ssh	-
		telnet	-

9 entries were displayed.

次のコマンドは、ノード管理LIFのファイアウォールポリシーを表示します。

```
cluster1::> system services firewall policy show -policy mgmt
```

Vserver	Policy	Service	Allowed
cluster1-1	mgmt	dns	0.0.0.0/0, ::/0
		http	0.0.0.0/0, ::/0
		https	0.0.0.0/0, ::/0
		ndmp	0.0.0.0/0, ::/0
		ndmps	0.0.0.0/0, ::/0
		ntp	0.0.0.0/0, ::/0
		rsh	-
		snmp	0.0.0.0/0, ::/0
		ssh	0.0.0.0/0, ::/0
		telnet	-

10 entries were displayed.

- b. ファイアウォールポリシーが有効になっていない場合は、コマンドでパラメータを指定して `-service`、ファイアウォールポリシーを有効にします `system services firewall policy modify`。

次のコマンドは、クラスタ間LIFのファイアウォールポリシーを有効にします。

```
cluster1::> system services firewall policy modify -vserver cluster1
-policy intercluster -service ndmp 0.0.0.0/0
```

3. すべてのLIFのフェイルオーバーポリシーが適切に設定されていることを確認します。

- a. コマンドを使用して、`network interface show -failover` クラスタ管理LIFのフェイルオーバーポリシーがに設定されていること、およびクラスタ間LIFとノード管理LIFのポリシーがに設定され`local-only`ていることを確認し`broadcast-domain-wide`ます。

次のコマンドは、クラスタ管理LIF、クラスタ間LIF、およびノード管理LIFのフェイルオーバーポリシーを表示します。

```
cluster1::> network interface show -failover
```

Failover Vserver Group	Logical Interface	Home Node:Port	Failover Policy
----- -----	-----	-----	-----
cluster cluster	cluster1_clus1	cluster1-1:e0a	local-only Failover
Targets:			
cluster1 wide Default	cluster_mgmt	cluster1-1:e0m	broadcast-domain- Failover
Targets:			
Default	IC1	cluster1-1:e0a	local-only Failover
Targets:			
Default	IC2	cluster1-1:e0b	local-only Failover
Targets:			
cluster1-1 Default	cluster1-1_mgmt1	cluster1-1:e0m	local-only Failover
Targets:			
cluster1-2 Default	cluster1-2_mgmt1	cluster1-2:e0m	local-only Failover
Targets:			

- a. フェイルオーバーポリシーが適切に設定されていない場合は、コマンドでパラメータを指定し`-failover-policy`でフェイルオーバーポリシーを変更します `network interface modify`。

```
cluster1::> network interface modify -vserver cluster1 -lif IC1
-failover-policy local-only
```

4. コマンドでパラメータを指定し `preferred-interface-role` で、データ接続に必要なLIFを指定し `vserver services ndmp modify` ます。

```
cluster1::> vserver services ndmp modify -vserver cluster1
-preferred-interface-role intercluster,cluster-mgmt,node-mgmt
```

5. コマンドを使用して、クラスタに優先インターフェイスロールが設定されていることを確認します
vserver services ndmp show。

```
cluster1::> vserver services ndmp show -vserver cluster1

                Vserver: cluster1
                NDMP Version: 4
                .....
                .....
                Preferred Interface Role: intercluster, cluster-mgmt,
node-mgmt
```

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。